

農業經濟課販売戦略室

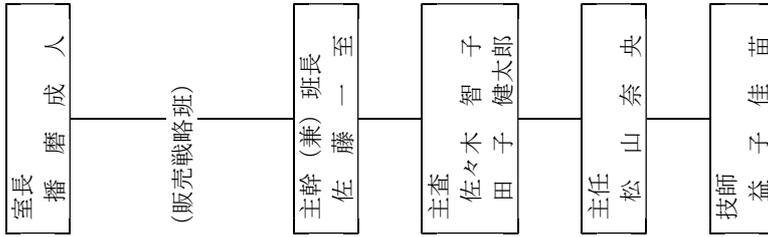
農業経済課販売戦略室

(令和4年4月1日現在)

主な所掌事務

(販売戦略班)

- ・ 部内の流通販売戦略の総括
- ・ 農産物等のマッチング
- ・ 生産者、JA等の販路拡大支援
- ・ 農産物の輸出促進（窓口）



事業名	県産農産物販売力強化事業		担当	販売戦略班
事業年度	令和4～7	事業主体	県、農業者等	
事業目的	マーケットの動向をとらえたマーケティング及びマッチング活動を強化するとともに、農業法人等の販売力の向上と販路開拓を支援する。		財源内訳	当初予算額 17,472千円
			諸収入	20千円
			一般	17,452千円
実施内容	<p>1 県産農産物マッチング支援事業 11,852千円（◎20千円、○11,832千円） 多様化する消費動向や実需者ニーズに対応し、販売額の拡大につなげるため、マーケティング及びマッチング活動を強化し、農業者の販路開拓を支援する。</p> <p>(1) マッチングサポート体制の整備</p> <p>①首都圏マーケティング活動の強化 企業開拓員の配置、企業訪問による実需者ニーズの調査等</p> <p>②ニーズ対応・マッチングの強化 マッチング推進員の配置、実需者ニーズへの対応支援、現地商談への同行等</p> <p>(2) 秋田県農産物流通販売戦略推進会議の開催 農産物流通販売戦略を効果的に推進するため、関係機関で構成する会議を開催する。</p> <p>①構成 15団体（生産者6、実需者7、学識経験者1、県1）</p> <p>②開催回数 年1回</p>			
	<p>2 農業者等販路多角化推進事業 5,620千円（○5,620千円） 販売レベルに応じた研修や、普及指導員と連携したマンツーマン指導等により、農業者の着実なスキルアップと販路開拓を支援する。</p> <p>(1) 販路多角化推進事業</p> <p>①対象者 農業法人、認定農業者、認定新規就農者等</p> <p>②実施内容 多様な販売ルートや販売方法に関する研修会の開催</p> <p>(2) 販売力ステップアップ支援事業</p> <p>①民間専門家による販売力向上研修 ア 対象者 農業法人、認定農業者、認定新規就農者等 イ 実施内容 販売に係る研修会の開催、模擬商談の実施、個別指導等</p> <p>②販路開拓活動への助成 ア 対象者 販売力向上研修の受講者 イ 助成対象 実需者訪問、商談会出展、新たな品目・品種の栽培試験、HPの作成等 ウ 補助率 1/3以内（上限200千円）</p> <p>(3) 実践商談機会提供事業</p> <p>①対象者 販売力ステップアップ支援事業を修了し、販路拡大に意欲的な経営体</p> <p>②実施内容 商談会への出展やバイヤー招へいによる商談機会の提供</p>			

事業名	農産物グローバルマーケティング強化事業【地方活性化対策基金】		担当	販売戦略班
事業年度	令和元～7	事業主体	県、農業者等	
事業目的	県産農産物の輸出を促進するため、海外への販路拡大とブランド化に向けた取組を推進する。		財源内訳	当初予算額 28,971千円
			国庫	12,963千円
			繰入金	16,008千円
実施内容	<p>1 グローバル企業連携輸出ルート拡大事業 6,500千円（◎6,500千円） 輸出企業との連携を強化し、輸出ルートの拡大を図るとともに、持続的に輸出できる流通販売体制を構築する。</p> <p>(1) 海外実需者への県産農産物の商談活動 企業訪問による売り込み活動、市場調査等 ①対象企業 ターゲット国に販路を持つ輸出・輸入企業、店舗を持つ日系企業等</p> <p>(2) 台湾・タイ向け「秋田紅あかり」のオンライン予約販売の実証 受注・販売時期や生産出荷体制の検証、ギフト商品の荷姿の検討、SNSによる産地情報の発信、顧客アンケート調査等</p> <p>2 沖縄インバウンド需要創出事業 8,358千円（◎8,358千円） 沖縄を拠点に県産品のブランド化と流通を促進し、海外消費者の需要獲得とアジア圏への輸出ルートの構築を図る（県産品の販売拠点でのPR活動、在沖外国人モニターを対象としたマーケティング調査、実需者との商談等）。</p> <p>3 輸出産地育成事業 5,963千円（◎5,963千円） 輸出に取り組む農業者を育成するとともに、産地での輸出対応技術の普及を図る。</p> <p>(1) 農業者の理解醸成と支援体制の強化 ①農業者を対象とした輸出向け生産・販売に係る研修会の開催（4回） ②普及指導員等を対象とした貿易実務等に係る研修（1回）</p> <p>(2) 台湾・タイ向け果実の防除技術等の普及 検疫条件等に対応する防除技術実証ほの設置、栽培講習会の開催等 ①対象品目 りんご、もも、日本なし ②実施地区 鹿角、北秋田、由利</p> <p>(3) 海外ニーズを捉えた果樹生産の実証展示 ①輸出向け果樹園地の新植・改植への支援 ア 実施地区 由利（りんご）、鹿角（ぶどう） イ 補助率 (ア) 植栽経費等 定額（りんご53万円/10a、ぶどう15万円/10a） (イ) 灌水設備等 1/2以内 ②海外ニーズに対応した品種の戦略的導入の実証展示 ア 実施内容 (ア) 輸出向け規模拡大による県オリジナルりんご品種の栽培（由利） (イ) 水稻育苗ハウスを活用したシャインマスカット栽培（鹿角）</p> <p>4 世界市場ニーズ対応型栽培体系開発事業 1,150千円（◎1,150千円） 世界的な輸出規制の厳格化の流れに対応した果樹の栽培体系を確立する（ネオニコチノイド系農薬を使用しない防除体系の開発）。 (1) 対象品目 りんご、日本なし</p> <p>5 グローバル産地形成支援事業 7,000千円（◎7,000千円） 輸出国のニーズや規制等に対応した産地を形成するため、経営戦略として輸出に取り組む農業者等を支援する。</p> <p>(1) 対象者 大潟村農産物・加工品輸出促進協議会 (2) 助成対象 海外ニーズに対応した生産管理体制の整備、展示会への出展等 (3) 補助率 定額（国10/10・上限額7,000千円）</p>			

事業名	所得に直結！県産農産物まるごとブランディング推進事業 【地域活性化対策基金】		担 当	販売戦略班
事業年度	令和4～7	事業主体	認定農業者、農業法人、県 等	当初予算額 7,403千円
事業目的	多様化する実需者や消費者のニーズに対応するため、県産農産物のブランド化に向けた取組を推進する。		財	繰入金 7,403千円
			源	
			内	
			訳	
実施内容	1 あきたトップブランド創出支援事業 エンドユーザーから求められるプレミアム商品を創出する取組に対し助成する。		1,059千円（◎1,059千円）	
	(1) 対象者 卸売業者、仲卸業者、JA等 (2) 助成対象 試験栽培、検査分析、バイヤーの産地招へい等 (3) 補助率 1/2以内（上限500千円） (4) 対象品目 しいたけ、小玉すいか 等			
	2 コンビニエントブランド創出支援事業 実需者が扱いやすい規格・品質や、消費者の需要を捉えた新たな商品開発を推進する。		1,338千円（◎1,338千円）	
実施内容	(1) 下位等級の有利販売に向けた加工・業務用向け商品づくり ①実施内容 実需者ニーズに対応した出荷規格や調製方法等の実証 ②対象品目 ねぎ、きゅうり ③実施地区 2地区（山本、仙北）			
	(2) 端境期を狙った夏ねぎの新商品づくり ①実施内容 商品規格の検討、量販店での試験販売 ②実施時期 6月～7月上旬（7月～8月上旬の早穫り出荷） ③実施地区 1地区（山本）			
	3 ブランド育成プロモーション事業 プレミアム商品など県産農産物の認知度向上やブランド化に向けたPRを行う。		5,006千円（◎5,006千円）	
実施内容	(1) 量販店におけるプロモーション ①実施内容 首都圏・関西圏でのフェアの開催、県内での販促ツールを活用した販売促進 ②実施時期 首都圏：7月、関西圏：8月、県内：随時			
	(2) 大手企業の社員食堂等におけるプロモーション ①実施内容 県産食材を使用したメニューの提供等 ②実施時期 7月～12月			